

たまちゃんとぼるまとぼんつ。



人物紹介的な



⑤珠姫（たまき）

愛称：タマ、たまちゃん等

素朴が服を着て歩いているような女の子。
ドジで天然で小動物っぽく、同性からは愛玩動物のように可愛がられている。
ばんつ&匂いフェチの彼氏に翻弄されながらも、
徐々にえっちなことを受け入れつつある。
言い換えれば開発が進みつつある。

⑥彼氏（あなたです）

たまちゃんの近所に住む幼なじみのお兄ちゃん。
ただひたすらにばんつフェチ……だが、今回は？





ほんとにこの
かっこのままで
…するの？

別に私だって
そういうわけじゃ…

かあああ

ギン

ギン

ならそれで構わないさ
コイツはもう、
そんな理屈なんて
求めちゃいない

今更何を言ってるんだ
今回は別に俺がオーダー
したわけじゃないぞ

さあ、
応え合おう
じゃないか…

はじめまして、
またはおひさしぶり、
珠姫です。
みんなからはタマちゃんて
呼ばれてます。

はみゅっ

何故か今日は体操服で彼氏と
その……えっちをするのに
なってしまったのですが、
お恥ずかしいことに理由が
あったりなかったりします……



私はよく休みの日に
体操服を部屋着に
して過ごす事がある
のですが

たまたまその
格好で……
ひとりできて
たりしまして

その現場を勝手に
部屋に入ってきた
彼氏に見られた
という

言葉にするとびっくり
するほど情けなくて
しょうもない理由
なのですが……

ただそのとき彼が
見せた笑顔が今まで
見たこともないよう
な笑顔で

「あ、この格好で今日
はえっちするんだな」
と覚悟するに至り
まして……











限界って……！
ちよっ……待って……！

今日は限界まで
行くぞ……
覚悟しろよ

ブルマの上から
だってのにもう
とろとろだな……

お願いだから
せめて
優しく……っ！

吸っ
ちや
だっ
ちや
いっ
いっ

ずりりっ

ちゅっ

はっ

とろっ

ぐうぐう
ぐうぐう
ぐうぐう

やっ
待っ
いっ

おっ
いっ



「二人」と同時に
にしている
みたいだっ……!

ばんつと
ブルマに挟まれて
……まるで

数時間後……



……こんな感じで、
変態でえっちでいじわるな
彼氏だけど、根っこは
弱気に優しくたりするのが
だいすきだったりします。

……これで
いいか……？

うん、許す

おわり。

たまちゃんとぶるまとはんつのおはなし。

ば：やあたまちゃん！ また会ったね！ ほくだよ！
 はんつだよ！ 元気だったかい？
 た：うん……また会っちゃったね……。前回とは違う柄
 なんだけど、同じ子なの……。？
 ば：早速だけ（スルー）、今日はたまちゃんに紹介した
 い人があるんだ！ さあ、入っておいでよ！
 ぶ：初めまして！ ポク、ぶるま！
 ば：待ってってで兄弟！
 ぶ：おおきに！ 呼んでもうてほんまおおきにやで兄弟！
 た：またなんか増えたよ……。というか、人……。？
 ば：細かいことは言いつこなさ！ ところでたまちゃん
 は彼のことをどのくらい知ってるかな？
 た：彼、って……。男の子なんだ。体操服、じゃないの？
 ぶ：ナメったらハメくり回すぞコラア！
 た：ひいっ！
 ば：まあまあ、落ち着いてぶるまくん。普通はこんなも
 のだよ。あのね、早い話が彼ははんつなのさ。
 た：えっ。
 ば：はんつの定義は色々あるけど、ソウルの部分にお
 いて言えば、女の子の大事なところを守る騎士道精
 神溢れる存在のことをはんつと呼ぶんだよ。それは
 ぶるまにとっても変わりはないわけさ。
 た：だったらスパッツとか水着もはんつになるの……。？
 ぶ：ナメったらそのイカ腹、ポテ腹にすんぞコラア！
 た：ひいっ！
 ば：今はほくも聞き捨てならないね……。スパッツはば
 んつとは似て否なるものさ。何故なら彼らの心には
 剣がない。盾だけでは騎士とは呼ばないんだよ。
 た：なんかかっこいいこと言い出した……。
 ぶ：その通りや兄弟……。超頭く。

ば：ぶるまくんが前衛ならぼくは後衛、まさに背中合わせ
 で戦っているというわけさ。もはや相棒を超えた何か
 さ。そのおかげで健やかに日々を過ごせていることを
 どうか忘れないで欲しいんだ。
 た：何と戦ってるのかよくわかんないけど……。
 ぶ：おどれのま〇こにインしようとしとるいらん雑菌とか
 チ〇ポとかに決まるとるやんけ頭悪いんか、ケツの穴
 ぼじくり倒すぞ雑豚があ！
 た：ひいっ！（マジ泣き）
 ば：前回の話をよく思い出して欲しい。ぼくらは確かに君
 たち女の子を守る騎士だけど、君たち自身が清潔を意
 識していなければ、ぼくらの剣と盾はどんどん錆びつ
 いていってしまうんだ。でも外部からの汚染は、特に
 運動中などは不可避なケースが多い。ぶるまくんが
 いてくれることで、防御はより盤石なものとなるんだよ。
 ぶ：そういうことさ。ポくらに付着したグラウンドの砂は
 汚れであると同時に、黴菌なのさ。
 ば：それにぼくとも相性がいいしね。たまちゃんも、ハミ
 パンの一度や二度の経験くらいあるだろう？
 た：あれって相性がいいとかそういう問題だったんだ……。
 ば：そうさ。たまにぼくがはみ出すことによって、女の子
 にぼくの存在を強く認識してもらえる。そうすること
 で、より清潔にしようという意識が湧くというわけさ。
 ぶ：そう。ポくらは最強のタッグなのさ！
 ば：まあでもぼくはスク水の方が好きなんだけどね。
ぶ：どういうこっちゃ兄弟！？
 ば：これからもぼくをよろしくねたまちゃん！ じゃっ！
 ぶ：兄弟！？ 待ったらんかいや兄弟いいい！？
 た：うん……。ばいばい……。。



たまちゃんとはるまとはんつ。

2011年 8月14日 発行

印刷会社 PICO様

発行：没後

著者：RYO

連絡先

<http://www.synapse.ne.jp/botugo/>

mayaul@vesta.dti.ne.jp

本書の一部あるいは全部について、
発行者の許諾を得ずに無断で複製・複写することを固く禁じます
乱丁・落丁本はお手数ですが、上記の連絡先までご連絡下さい

たまちゃんとはるまとはんつ。